

そなえあれば

うれいなし

西 淀

防災Times

Vol.8 2月9日 担当:

火災避難訓練のご協力ありがとうございました

垂直避難について考える

今回初めて、児童生徒が階段を昇降して避難する訓練を行いました。

以前、中3と小6が児童生徒と一緒に階段を降りる訓練を行いました。

今回は医ケア用品の移動は伴わないものとなりましたが、実際の手続きにおいては、もちろん丁寧に扱わなければならないのは言うまでもありません。しかし、避難の際にごく必要な最低限のもので移動しなければなりません。

また階段昇降の際、車いすに乗っている児童生徒は、降りて移動することが基本とされていますが、果たして絶対にそのようにしないとイケないものでしょうか？

呼吸器をつけた児童生徒の場合、水平に保つために

・安全面から考える。階段上では座面を水平に保つことが難しいことから、乗車したままの安定性に欠けることもあって、児童が先に抱っこなどされてから、先に車いすを下ろし、あとから追いかける形を推奨されていました。

・機動力から考える。

動きのある児童との待機は十分な体制をとらないと非常に危険です。

どうか十分な体制をとって望んでいただけましたらと思います。

駅で車いすの方を見かけたら、4人でそのまま介助することもあります。

訓練ができない分シュミレーションは何度か行うことが必要になるかと思えます。

まだまだ確立された避難方法はありますが、そのときできる最善を尽くして取り組むことができたと思います。

もし、車いすに乗ったまま介助する必要がある場合。

・起動力から考える。

今回の避難訓練を経て、階段に避難用担架を設置しました。

様々なシュミレーション

もし今、すぐ近くで火災が起きたらどのように対処したらよいでしょうか。

体育館で逃げ遅れたら（火元が調理室等の場合）

・できるだけ北側（淀川通）へ。

→→体育館の避難階段から助けを呼んだり、避難を開始してください

・職員室で逃げ遅れたら（教員のみの場合ですが）

仕事に没頭しすぎて、火の勢いに気づかないこともあります。

一刻もあらそうときは、避難はしごからの脱出も考えてください

その他、想定できない火災も発生するかもしれません。

消すことよりも避難することを優先する等、まずは自分の身を守ることから始めてください。

過去の防災 Times は、こちらをご覧ください！

<セキュリティモード>

School→西淀川支援学校→3分掌→健康教育→防災→R5→防災 Times